令和７年度　授業計画

ビジネス科　３年Ｄ組

教　　科	商　業	科目(単位)	ソフトウェア活用（３単位）	選択相手科目	管理会計
使用教科書	ソフトウェア活用（東京法令出版）				
授 業 形 態	通常授業　・　分割授業　・　ＴＴ				

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。
※ＴＴ（チームティーティング）とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

１　科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
（３）企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２　科目の内容と授業の進め方

・タイピングの技能を高め、ビジネスの諸活動においてアプリケーションソフトを活用する業務を、短時間で正確に処理する能力を身に付けます。
・目標とする検定試験は、全商情報処理検定ビジネス情報部門１級（９月、１月）と、全商ビジネス文書実務検定１級です。

３　学習の方法

・毎時間の授業を大切にすることはもちろんですが、その授業を確実に理解するためにも発言や質問を積極的にすることが大切です。
・練習問題を繰り返し行い、実習問題、過去検定問題などを活用し、いろいろな問題解決方法を学びます。技術や技能だけでなく、発想力や創造力も必要です。また、仕事の効率、能率を考え、正確性に加え、短時間で処理する能力を身に付けます。
・コンピュータに関する知識や用語を理解するためは、積み重ねた学習が必要です。何度も問題を繰り返すなど、予習と復習が必要です。

４　課題・補習について

・随時、問題集を点検します。
・検定試験の前には、希望に応じて補習を実施します。

５　この授業で取得可能な資格（検定試験）

・全商情報処理検定ビジネス情報部門　１級・２級
・全商ビジネス文書実務検定　１級・２級

６　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業活動におけるソフトウェアの活用について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動におけるソフトウェアの活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

ビジネス科　３年Ｄ組

教　　科	商　業	科目(単位)	ソフトウェア活用（３単位）	選択相手科目	管理会計

７　年間の学習計画

月	単　元　名	学　習　の　内　容	評価方法 （課題等）
4 5 6	第１章 表計算ソフトウェアの活用 １ 情報の集計 ２ 情報の分析 ３ シミュレーション ４ オペレーションズリサーチ ５ 手続きの自動化	・販売予測、在庫管理、販売計画立案、接客などの業務を円滑に行うことができるソフトウェアである表計算ソフトウェアの活用方法を身に付ける。	行動観察 提出物 （振り返り） 小テスト **前期** **中間考査**
7 8 9	第２章 データベースソフトウェアの活用 １ データベースの重要性 ２ リレーショナルデータベースの概要と設計 ３ データベースの作成と操作 ４ 手続きの自動化	**全商ビジネス文書検定　速度部門１・２級** **ビジネス文書部門２級** ・仕入・販売管理・顧客管理・新商品の開発などの業務を円滑におこなうために、各種データを一元的に管理するソフトウェアであるデータベースソフトウェアの活用方法を身に付ける。 **全商情報処理検定　ビジネス情報部門１・２級**	行動観察 提出物 （振り返り） 小テスト **前期** **期末考査**
10	第３章 情報システムの開発 １ 表計算ソフトウェアによる情報システムの開発 ２ データベースソフトウェアによる情報システムの開発	・予約管理を題材に、表計算ソフトウェアとデータベースソフトウェアのプログラミング機能を用いて情報システムを開発する際に必要となる知識とスキルを身に付ける。	行動観察 提出物 （振り返り） 小テスト
11 12	第４章 業務処理用ソフトウェアの活用 １ グループウェアの活用 ２ 給与計算ソフトウェアの活用 ３ 仕入・販売管理ソフトウェアの活用	・従業員間の情報共有・スケジュール管理や、給与計算、仕入・販売管理などの業務を円滑におこなうために、多くの企業で実際に導入されている業務処理用ソフトウェア（グループウェア、給与計算ソフトウェア、仕入・販売管理ソフトウェアなど）の活用方法を身に付ける。 **全商ビジネス文書検定　速度部門１・２級** **ビジネス文書部門１・２級**	行動観察 提出物 （振り返り） 小テスト **後期** **中間考査**
1 2	第５章 情報システムの基礎 １ 情報通信ネットワークの導入と運用 ２ 情報資産の保護	**全商情報処理検定　ビジネス情報部門１級** ・情報システム全般に関する基礎技術や情報セキュリティなどについて理解する。	行動観察 提出物 （振り返り） 小テスト **学年末考査**